

2017年2月購入図書

No.	図書名	内容	著者名	出版社
1	女性の暮らしと生活意識データ集2016	1億総活躍社会を目指す日本!女性の生活や仕事、そして消費への影響を考えるための統計集。	三冬社編集部	三冬社
2	男女共同参画白書 平成28年版	「多様な働き方・暮らし方に向けて求められる変革」を特集テーマとし、女性を取り巻く様々な情勢、時間や場所にこたわれない働き方としてのテレワークへの期待、さらには多様な働き方へのニーズに対応する企業の動き等を紹介しつつ、男女が個性と能力を發揮できる豊かで活力ある社会に向けて歩を進めていく重要性がうたわれております。	内閣府男女共同参画局	勝美印刷
3	おばちゃんたちのいるところ	追いつめられた現代人のもとへ、八百屋お七や皿屋敷のお菊が一肌ぬぎにやってくる。胸の中のもやもやが成仏して愉快になれる、連作短篇集。嫉妬、憎しみ、孤独に苛まれ、お化けとなった女たちの並々ならぬパワーが昇華され、現代女性の生きこぎをも吹き飛ばす!各作品がゆるくつながった本書は、声高に糾弾の声を上げるような作品ではない。でも、日常に潜む見逃してしまいがちな差別やハラスメントに気づかせてくれる物語。そして生ける者と生きざる者が共存する物語でもある。	松田 青子	中央公論新社
4	レンアイ、基本のキ 好きになったらなんでもOK?	つき合った途端「オレの言うことをきけ」と言う彼。「好きなら相手に合わせるのが当たり前」と思う私。「恋愛って相手を束縛することなの?」「一方だけが我慢するのっておかしい?」。様々なケースから不幸せにならない二人の関係のあり方を考えていく。デートDVに陥らない恋愛の形とは?	打越 さく良	岩波書店
5	いじめのある世界に生きる君たちへ いじめられっ子だった精神科医の贈る言葉	日本を代表する精神科医・中井久夫が自身の体験をもとに綴った「いじめ」論。いじめが進んでいく段階を「孤立化」「無力化」「透明化」の3つの段階で解説し、いじめられている子の安全の確保について論じる。	中井 久夫	中央公論新社
6	母になるのがおそろしい	「母のような母になるのがこわい…」そう気づいたのは出産を意識した結婚3年目の春だった。そしてよみがえる幼少時の暗い記憶…。男性依存の母をもち、義父からわいせつ行為を受け、苦しむ日々…。大人になっても影を落とす黒い記憶から解放されるまでを描く渾身のノンフィクションコミックエッセイ。	山田可南	KADOKAWA
7	子ども食堂をつくらう! 人がつながる地域の居場所づくり	全国各地でオープンが相次ぐ子ども食堂。最大の魅力は、思いさえあれば、誰でも気軽に自分の地域で始められるということ。この本では、立ち上げ準備から運営のコツまで、先輩子ども食堂の体験談を交えながら紹介。子どもを地域で見守ることの意味について考える。	豊島子どもWAKUWAKUネットワーク	明石書店
8	「LGBT」差別禁止の法制度って何だろう?	LGBT当事者の抱える悩みとは何か、どういう法制度なら解決できるか。多摩市・渋谷区・世田谷区など10自治体のLGBTへの先進的施策を紹介し、法案への課題を解明する。	LGBT法連合会	かもがわ出版
9	ドメスティック・バイオレンスと民間シェルター 被害当事者支援の構築と展開	なぜDV被害者には民間による支援が必要なのか。草の根の女性たちが開設した民間のシェルターを、その運営や支援、運動、行政との連携などの視点から多角的に考察し、民間シェルターの役割と今後の方向性をさぐる。	小川 真理子	世織書房